

2015年8月26日

相模原市長
加山 俊夫 様

相模総合補給廠での爆発火災に関する要請書

日本共産党相模原市議団

8月24日未明、米軍相模総合補給廠内にて、爆発火災事故が発生しました。爆発は、火柱を伴い連続して数十回にわたり、深夜の街を震撼させました。爆発音や振動、臭いなど、周辺住民のみならず、離れた所の住民も含めて多くの市民が、恐怖と不安を募らせました。

米軍からの「消防相互援助協約」に基づく要請に応じて、市の消防隊が出動しましたが、保管物が危険物である可能性から放水できず、午前7時過ぎの鎮火となりました。

こうした事態が発生、進行しているにもかかわらず、市から市民への情報提供がされず、何が起きたのか、どう対応しているのか、知るすべのない市民は長時間にわたり、不安を一層増幅させる事態になりました。

事故現場は、危険物倉庫の一角であり、安全管理を徹底して行わなければならない倉庫です。一歩間違えれば重大事故になるもので、二度と起きてはならないことであり、市民の生命と安全を守る上から、今後の対応がきわめて重要です。

以上のことから、市長におかれましては、市民への早急な情報提供の改善を図るとともに、次のことを米軍や日本政府に要請して頂きたいをお願いします。

記

1. 事故原因究明の現場検証に日本側関係者を参加させること、再発防止策について協議すること。
2. 基地に関する情報について、自治体へ適切に提供すること。
3. 基地内の廃棄物や危険物に関する定期的立ち入り検査を認めるよう、地位協定の改定を行うこと。
4. 早期に基地を全面返還すること。

以上